

## IV. 川越市農業振興の基本的な考え方

### 1. 川越市の農業の将来像

「Ⅱ. 農業政策の動向」、「Ⅲ. 川越市農業の現状と課題」で示したとおり、川越市の農業振興を進めるためには、農業者のみならず、消費者・援農者としての市民、食品加工業などの事業者、卸売業者、小売業者等、生産から消費まで多様な主体の協働が必要不可欠です。

このような協働体制のもと、首都近郊に位置する立地条件を活かし、新鮮で安全な農畜産物の供給基地として、消費者のニーズを適時取り入れた農業生産を展開し、農業経営の安定化を図ります。そして、「もうかる農業」を目指し、農業が活力ある産業となることを目指します。

以上から、川越市の農業の将来像を以下のように定めます。

#### [川越市の農業の将来像]

多様な主体の協働により育まれる、にぎわいに満ち、活力ある川越農業

上記将来像の実現を目指す上で、川越市の農業振興の総合的な目標として、農業産出目標額を定めます。

最近10年間の川越市の農業産出額は80億円前後で推移していることから、各種施策を実践、推進し、農業産出額の増大を目指すこととし、目標額として「100億円」を設定します。

#### [将来目標：農業産出額]

農業産出額 100億円

#### IV. 川越市農業振興の基本的な考え方

##### [エリア別の将来像]

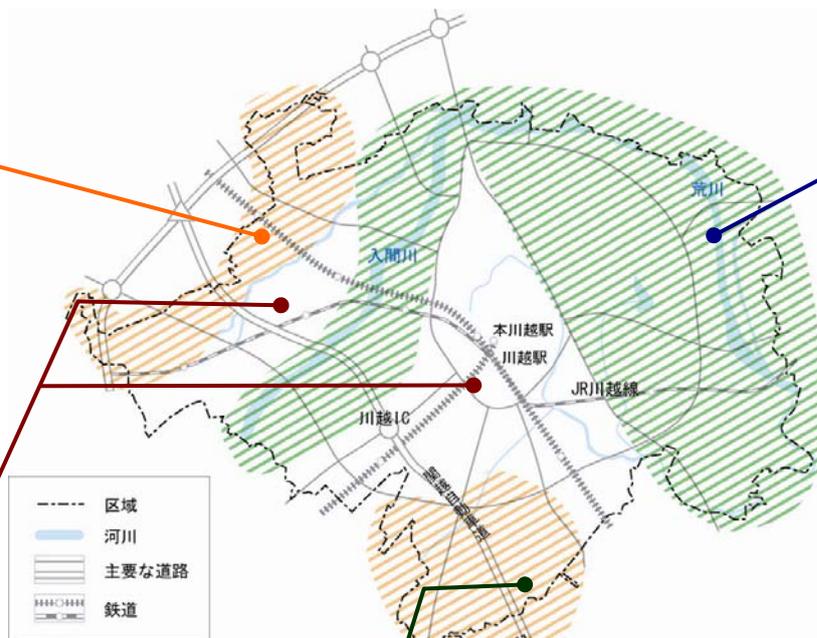
川越市は、その地形特性から、地域ごとに農地の利用形態が異なります。農業の内容も異なることから、地域別の将来像を以下のように定めます。

##### ◆市北西部に広がる水田・畑・樹園地混在エリア

- ・市北東部や南西部と同様に、水田、畑地で安全・安心な農産物を生産します。
- ・樹園地では出荷用果物生産と共に、観光客による収穫体験が行われています。
- ・市街地周辺においては、緑住農一体型市街地が展開します。

##### ◆市北部から東部に広がる稲作中心エリア

- ・高品質の良食味米を、大区画水田にて、省力・低コストで生産します。
- ・転作田の団地化による、大豆、麦を生産し「小江戸川越ブランド産品」への原材料供給や加工等による川越特産品の製造を行います。
- ・集落周辺においては、緑住農一体型市街地が展開し、各集落の伝統芸能が継承されます。
- ・川越らしい、広がりのある田園景観が展開します。



##### ◆市街化区域内農業エリア

- ・市民農園など、都市部の貴重なみどり、農とのふれあい空間となり、さらに都市防災に寄与します。
- ・安全・安心な農産物の身近な供給地となります。

##### ◆市南西部に広がる野菜生産中心エリア

- ・特別栽培農産物やGAP適用農産物等、安全・安心な「川越ブランド」野菜を、灌漑施設、ハウス施設等が整った畑地で生産します。
- ・全国出荷に加え、市内の農産物直売所や小売店の地場産品コーナーで販売します。
- ・さつまいも等、「小江戸川越ブランド産品」へ原材料を提供します。
- ・平地林と一体となった、川越らしい樹林地景観（三富地域等）が展開します。

## 2. 川越市の農業振興の基本構想

川越市の農業が抱える課題をふまえ、川越市の農業の将来像実現に向けた、農業振興の基本構想では、今後の農業活性化のための域内流通を活かす「地産地消」、わが国の食料自給率向上を担うための「生産量の拡大」、また、全ての農業施策の基盤となる「農地の保全」を3つの柱とします。

### 【川越市の農業振興の3つの柱】

#### ■ 地産地消

- ・川越市民および周辺市町住民による、川越市内で生産された安全・安心な農畜産物の消費を促進します。
- ・農業者が消費者の嗜好を把握し、身近な需要に応じた農産物を生産し、出荷時の価格設定まで行い、農業経営の安定化を目指します。
- ・消費者は川越市の農業に対する認識を深め、消費および援農の両側面から、川越市の農業を支えます。
- ・地場農産物の消費拡大により、フードマイレージの減少など、地球温暖化の対策に寄与します。

#### ■ 農地保全

- ・土地利用の適正な誘導により、優良農地を保全します。
- ・地域単位で営農・農地保全に取り組み、地域の農業を継承します。
- ・域内流通の活性化、「川越ブランド」の振興等を通じた生産量の拡大により、農地を保全します。
- ・土地利用転用の際は、周辺農業環境に十分な配慮を行います。

#### ■ 生産量拡大

- ・首都近郊に位置するという立地条件を活かし、新鮮で安全な農畜産物の供給機能を拡充します。
- ・地産地消の拡大により生産量を拡大します。
- ・新たな担い手への農地の利用集積、面的集積を促進し、生産効率を高め、生産量を拡大します。
- ・川越市の他の産業（観光等）との連携により、新たな需要を興し、生産量を拡大します。

#### IV. 川越市農業振興の基本的な考え方

### 「川越市の農業振興に向けた施策展開の基本方針」

「第三次川越市総合計画」に基づき、川越市の農業振興に向け、以下の5つの基本方針を定めます。

## 1 食料の安定供給の促進

水田農業、畑作農業、畜産業等を支援し、農地の集約化や生産の効率化により、品質の向上、生産量の増大を図ります。また、川越産農産物の「川越ブランド」化、食品産業との連携等により農産物の生産拡大を目指します。

## 2 担い手の育成・確保の推進

中核的な担い手を育成するとともに、地域単位での多様な主体の参画による営農・地域環境の維持管理を支援します。また、新規就農者を含めた農業後継者を支援します。

## 3 市民ニーズへの対応と流通の多様化の推進

市民ニーズをふまえ、地産地消による域内流通の促進、観光業との連携等により、川越市の農業振興を図ります。

## 4 環境と共生した持続可能な農業の推進

環境保全型農業を促進する等、環境と共生した持続可能な農業を推進します。また、食の安全・安心の確保を図ります。

## 5 農業基盤及び生活環境の整備

優良農地を保全し、農業の生産性の向上を図るため、農地基盤整備を推進します。また、快適で安全な生活環境整備を推進します。